

# 平成18年度 【2006年度】

## 交通局実施プラン



平成18年4月

札幌市交通局

# 交通局の経営理念

## 1 交通局の使命

効率的な事業運営を行い、公共交通ネットワークの中核として、「市民の足」を守るという社会的使命を果たします。

## 2 経営目標

将来にわたって安全で安定した輸送サービスを提供することで、都市機能の維持と地域社会の発展に寄与します。

## 3 行動指針

### 札幌市交通局の行動宣言（平成16年4月公表）

安全で安心な運行をお約束します。

- ・ 乗り心地の良いスムーズな運転を心掛けます。
- ・ 安全確認はきびきびとした態度で指差呼称します。
- ・ 車両や施設の小さな異常も見逃さず、確実な点検・整備に努めます。

便利で快適な時間をお約束します。

- ・ お客さまの時間を大切にし、定時運行に努めます。
- ・ 正確で聞き取りやすい車内アナウンスを行います。
- ・ 駅や車内をきれいに保ちます。

親切で思いやりあふれるサービスをお約束します。

- ・ あいさつを大切にし、お困りの方には進んで声を掛けます。
- ・ ていねいに分かりやすくスピーディーにご案内します。
- ・ 清潔な身だしなみで礼儀正しく接します。
- ・ お客さまの声に耳を傾けます。

# 交通局の事業運営

## 1 交通局運営方針

### 運営方針 2006

**安全から安心に向けて、そして利用者の立場に立ったサービスの提供に向けて、戦い、行動する組織**

これまで一つひとつ積み重ねてきた成果をより確実に、そして新たな事柄に対して結果を恐れず積極的に取り組む組織集団を目指します。

## 2 行動宣言に基づく事業展開

### 経営理念の実現に向けて

社会的使命及び経営目標を達成し、お客さまに一層の安全とサービスを提供するため、交通局職員は行動指針である「札幌市交通局的行動宣言」に基づき、組織として、また、一職員として行動しています。

### 各職場が中心となった取り組み

各職場が業務内容に応じて何ができるかを考え、取り組み目標を設定し活動を展開しています。例えば、駅務部門では職員が自主的にボランティアで、営業時間終了後に駅ホームやコンコースの大掛かりな深夜清掃を行っています。

### 自主的な活動を展開する「行動宣言推進チーム」

職員への行動宣言の一層の浸透と意識改革の推進を目指して、職場横断的に職員が参加し、推進チームを立ち上げています。この推進チームが、各職場の連携、情報共有、業務改善などに向けた積極的な活動を展開しています。

## 価値あるサービスの提供に向けて

### 信頼される企業を目指します



#### 【安全から安心へ】



これまで継続的に進めてきた安全対策を、もう一段高い安全への取り組みに変え、お客さまに安心を提供します。



### 愛される企業を目指します



#### 【サービスの向上】



お客さまの立場に立ったサービスの提供に向けて、新しい感覚で取り組み、その動きを確実に定着させていきます。



# 地下鉄事業の展開

## 1 事業を取り巻く環境と事業運営の方向性

地下鉄は、国の制度に基づき、平成 16～25 年度（2004～2013 年度）の 10 年間の計画期間とする「地下鉄事業経営健全化計画」を策定しているほか、この健全化計画を着実に進める実行プランとして「札幌市営地下鉄事業 10 か年経営計画」を策定し、安全対策や利便性向上など、必要な設備投資は着実に進める一方、増収・効率化にも力を注ぎ、23 年度（2011 年度）に経常収支の黒字転換、25 年度（2013 年度）には不良債務の全額解消などを目指しています。

計画の進捗状況として、火災対策や地震対策などの安全対策を着実に進める中で、ドニチカキップの発売を始めとする利用促進策や駅施設を有効活用したテナント誘致、駅業務の委託及び工場業務の外注化拡大など、計画に掲げた取り組みを確実に実施したことで、16 年度は計画を上回る成果を上げ、17 年度は 16 年度に引き続き順調に推移し、18 年度予算においても大幅な収支改善が見込まれます。

特に、経常収支の黒字転換は、前倒しで達成できる見込みも立ってきており、今後とも、各年度、計画を上回る成果を上げるよう取り組みを進めます。

## 2 安全対策

### 火災対策

地下鉄火災からお客さまを守るため、国の火災対策基準に照らし、避難通路や排煙設備等の整備を優先して実施しています。

#### 避難通路の整備

整備の必要な 3 駅すべての工事に着手します。

- |        |          |
|--------|----------|
| ・すすきの駅 | 17～19 年度 |
| ・中島公園駅 | 18～20 年度 |
| ・幌平橋駅  | 18～19 年度 |



<すすきの駅の工事>

## 排煙設備の整備

18 年度中に整備の必要な残り 3 駅の工事を完了します。

- ・南郷 13 丁目駅      17～18 年度
- ・大谷地駅            17～18 年度
- ・新さっぽろ駅      17～18 年度



< 排煙設備 >

## 防煙垂れ壁の設置及び排煙能力の増強

ホーム階の防煙垂れ壁が必要となる 6 駅について 20 年度までに順次整備を行います。18 年度は北 18 条駅と北 12 条駅の 2 駅に設置します。

また、排煙風量の増強が必要な北 12 条駅について 18 年度中に整備を実施します。

## 車両間仕切り扉の設置

国の基準の見直しにより、更新車両から、車両間に仕切り扉を設置することが義務付けられました。

18 年度以降の更新車両から順次設置していきます。



< 車両間仕切り扉のイメージ >

## 地震対策

地震による被害を防ぐため、南北線高架部の橋脚耐震補強工事を 20 年度までの計画で順次進めています。

18 年度は残り 57 基のうち 12 基の工事を行います。

(澄川駅～自衛隊駅間)



< 橋脚の補強工事 >

## ホーム柵の設置準備（東西線）

ホームでの転落事故や列車との接触事故を防ぐため、全線に順次ホーム柵を設置していきます。東西線は 21 年度当初の稼動を目指して計画的に車両・設備等の整備を進めています。

18 年度はホーム柵の設計にも着手します。



< ホーム柵のイメージ >



### 3 利便性・サービスの向上

#### バリアフリー化

22 年度までの全駅及び主要バスターミナルのバリアフリー化に向けて、障がいのある方や専門医などを構成員とする「バリアフリー化検討委員会」との意見交換を踏まえ、16 年度から順次整備を進めています。



< 誘導用ブロック >

#### < 18 年度実施施設 >

北 34 条駅、幌平橋駅、南平岸駅、  
自衛隊前駅、菊水駅、白石駅、  
南郷 13 丁目駅、ひばりが丘駅、  
白石バスターミナルの 9 施設

#### < バリアフリー化実施内容 >

- ・身障者トイレのオストメイト設備
- ・視覚障がい者誘導用ブロック
- ・駅構内及びトイレの触知図
- ・点字料金表
- ・出入口・改札口・トイレの音響案内設備
- ・エレベーター・エスカレーターの音声案内設備

#### 車いす対応改札機導入

改札機のバリアフリー化を順次進めてきましたが、18 年度に新たに 18 台の車いす対応改札機を導入することで、全駅への車いす対応改札機の導入を完了します。



< 車いす対応改札機 >

#### エレベーター整備

全駅へのエレベーター設置に向けて順次整備を進めてきましたが、18 年度に残りの全ての駅において工事または設計に着手します。後は、用地確保の関係で未整理となっている東札幌駅の東行及び中の島駅の南行を残すのみとなっています。



< 新設エレベーター >

#### < 18 年度実施駅 >

- |     |                           |          |
|-----|---------------------------|----------|
| ・工事 | 中島公園駅                     | 17～18 年度 |
|     | 北 18 条駅                   | 18～19 年度 |
|     | 南郷 7 丁目駅                  | 18～19 年度 |
| ・設計 | 北 12 条駅、中の島駅（北行）、バスセンター前駅 |          |

## カード対応改札機の導入

18年度に車いす対応改札機 18 台を含む全 32 台を導入することで、全線全駅の改札機がすべてカード対応となります。

## 新型車両の導入

東西線車両は、20 年度までの計画で順次新型車両に更新しています。18 年度は 4 編成の新型車両を導入し、在籍する 26 編成のうち 17 編成が新型車両となります。



<東西線 8000 形車両>

## エスカレーター・新改札口の設置

地下鉄駅の火災対策工事に併せて、都心部でご利用が多く、かつ駅舎が狭い、すすきの駅と中島公園駅には、新たにエスカレーターと改札口を設置するため整備を進めます。

- ・すすきの駅                    17～19 年度
- ・中島公園駅                   18～20 年度



<新設のイメージ>

## サービスマネージャーの配置

南北線さっぽろ駅の北改札口に、日中の時間帯を中心にサービスマネージャーを配置します。夏頃を目途に、観光やビジネスで札幌を訪れる方々に、観光情報や交通機関の乗り換えなどの案内を始めます。



<準備を進めるスタッフ>

## ICカード乗車券導入の検討

20 年度の導入を目途に IC カードシステムの検討を進めます。IC カードは、改札機にかざすだけで自動的に運賃が差し引かれ、また、紛失しても再発行が可能など、便利な乗車券サービスの提供が可能となります。



## 4 利用促進策

### PR 活動の強化

#### イベント、啓発活動の実施

地下鉄の利用促進やマナーアップなどを目的としたイベントなどを実施します。



< 17 年度の利用促進キャンペーン >

#### 積極的な情報提供

報道機関への情報提供や、ホームページなどを活用した積極的な情報発信を行います。

### 地域との連携

#### 地域との連携によるカードの作成

地下鉄駅のにぎわいと地下鉄の利用促進及び地域のまちづくりにも寄与・活用を目的とするカードを作成します。

#### 各区との連携による情報発信の強化

駅構内における地域情報発信用掲示板の拡大、駅周辺マップの作成などを行います。



< 地域情報発信用掲示板 >

### 新たな需要の開拓

#### 沿線施設との連携

沿線施設、店舗などとのタイアップによる乗車券の魅力アップなどを行います。

#### 旅行会社とのタイアップの実施

観光客の新規需要開拓を目指し、一部旅行代理店のツアー商品で、ツアークーポンによる乗車券の引換えを実施します。取扱い商品・代理店の増加・充実を図ります。

#### ドニチカキップの販売促進

更なる PR 強化を行います。また、利用日の拡大（年末年始の利用など）を検討します。



< ドニチカキップ >

## 札幌市の施策との連携

ノルディック世界選手権大会、芸術文化月間などとの連携による乗客誘致を進めます。



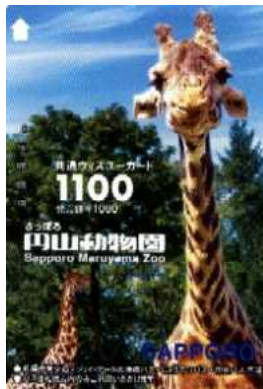
<さっぽろアートステージ 2005>



<世界ノルディック 2007>

## 魅力あるカードの作成

シリーズカード、タイアップカード、記念カードなどの更なる魅力アップに努めます。市の施策との連携を図るなど、話題性のあるカードを作成します。



## 5 増収対策

### 駅コンコースの活用

東西線大通駅（旧乗車券販売所）における（仮称）障がい者「元気ショップ」の開店に向けた準備を行っているほか、他の場所についても有効活用の可能性を検討しています。



<旧乗車券販売所>

## その他の資産活用

庁舎空スペースへのテナント誘致や、大通西 19 丁目など低・未利用地の高度利用に向けた取り組みを順次進めていきます。

## 広告媒体の充実

- ・ 福住セット（福住駅の空き壁面を利用した大型ポスター広告の短期セット販売）の実施
- ・ パンフレット広告の実施
- ・ 東豊線への車内音声広告の拡大
- ・ エスカレーター手すり広告の実証実験
- ・ その他新規媒体の開発検討  
（駅名下広告、ステップ広告など）



<手すり広告のイメージ>



<福住セットのイメージ>



<パンフレット広告>

## 6 効率化策

### 駅業務の委託

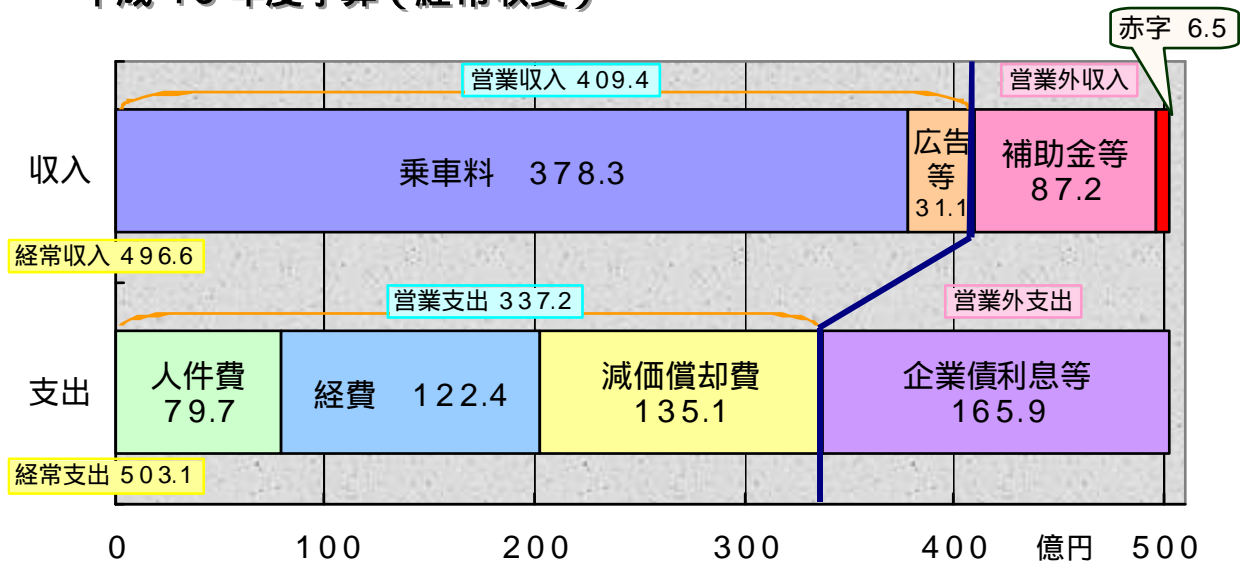
18 年度は南北線さっぽろ駅、東豊線さっぽろ駅、麻生駅、北 24 条駅、北 18 条駅の 5 駅を財団法人札幌市交通事業振興公社に委託します。これで全 49 駅中 37 駅が委託駅となり、残る 12 駅についても順次委託する予定です。



<南北線さっぽろ駅>

## 7 収支見込み

### 平成 18 年度予算（経常収支）



### 平成 18 年度予算のポイント

#### ➤ 営業収支の改善

72 億 2 千万円の営業黒字 ← 17 年度予算から 11 億 1 千万円改善

#### ➤ 経常収支の改善

6 億 5 千万円の経常赤字 ← 17 年度予算から 23 億 2 千万円改善  
 （ 経常赤字のピークは平成 3 年度の約 356 億円）

#### ➤ 不良債務の削減

21 億 3 千万円の不良債務 ← 17 年度予算から 4 億 6 千万円改善

輸送人員及び乗車料収入は、16 年度に 9 年ぶりに対前年度で増加に転じ 17 年度においても、制度の見直しがあった敬老カード利用分を除き、順調に推移しており、これまでの逡減傾向には一定の歯止めがかかったものと考えられます。

18 年度予算では、前年度予算から収入の増加を見込み、費用についても効率化などの取り組みを進めることで、経常収支は改善しています。これまで地下鉄建設に伴う資本費の負担が重く大幅な赤字を生じていた経常収支もあと数年で黒字転換が見込まれます。



## ＜高速電車事業会計＞ 平成 18 年度予算の状況

(単位：百万円)

区 分		予算額	主 な 内 容		
収 業 益	営 業 収 入	乗 車 料 収 入	37,824	定期 73億円 定期外一般 285億円 福祉分 20億円	
		そ の 他	3,113	広告料 20億円 賃貸料 11億円	
		計	40,937		
	支 出	人 件 費	7,973	さっぽろ駅を含む5駅の委託により縮減	
		経 費	12,240	施設設備の老朽化に対応	
		減 価 償 却 費	13,510	現金支出を伴わない費用	
		計	33,723		
	営業収支 (A) (償却前営業収支)		7,214 (20,724)	効率化等の進展によりH14から黒字構造が定着 (減価償却費を除いた収支)	
	的 営 業 外 支	営 業 収 入	他 会 計 補 助 金	8,334	特例債元利補助金等
			そ の 他	389	雑収益
計			8,723		
支 出		企 業 債 利 息	15,489	企業債の償還が進み漸減傾向。対前年 13億円	
		そ の 他	1,061	消費税納付額 9億円	
		計	16,550		
営業外収支 (B)		7,827			
予 備 費 (C)		40			
経常収支 (A)+(B)-(C)=(D) (償却前経常収支)		653 (12,857)	17年度予算から23億円好転 (減価償却費を除いた収支)		
特 別 損 益 (E)		0			
収益的収支 (D)+(E)=(F)		653			
累 積 欠 損 金		344,671	(税抜)		
資 本 的 収 支	収 入	企 業 債	29,341	建設債 85億円 特例債等 103億円 借換債 105億円	
		出 資 金	4,037	建設出資 22億円 健全化対策出資 18億円	
		国 庫 補 助 金	350	火災対策・耐震補強等	
		他 会 計 補 助 金	5,347	資本費負担軽減補助金等	
		受 託 工 事 収 益	2,043	エレベーター整備、札幌駅前通地下歩行空間整備	
		計	41,118		
	支 出	建 設 改 良 費	11,996	火災対策、車いす対応改札機、バリアフリー等	
		企 業 債 償 還 金	39,838	建設債 206億円 特例債等 87億円 借換債 105億円	
		受 託 工 事 費	2,043	エレベーター整備、札幌駅前通地下歩行空間整備	
		予 備 費	20		
計		53,897			
資本的収支 (G)		12,779			
損益勘定留保資金 (H)		13,737	減価償却費など現金支出を伴わない費用を再掲		
過年度分資金過不足額 (I)		2,440	17年度見込み		
計 (F)+(G)+(H)+(I)		2,135	経営健全化計画に基づき計画的に解消		



## 8 10か年経営計画の進捗状況（税抜き）

札幌市営地下鉄事業 10 年経営計画では、的確な事業運営によって、将来にわたって安全で安定した輸送サービスの提供を目指し、事業計画や収支改善目標を定めています。

計画の進捗状況としては、安全対策や利便性向上など必要な設備投資は着実に進める一方、増収策や効率化策などの積極的な展開を図ることで順調に推移しています。今後ともこの流れを維持し、少しでも計画目標を前倒して達成できるよう、経営の健全化に向け取り組んでいきます。

（単位：億円、数値は消費税を除く）

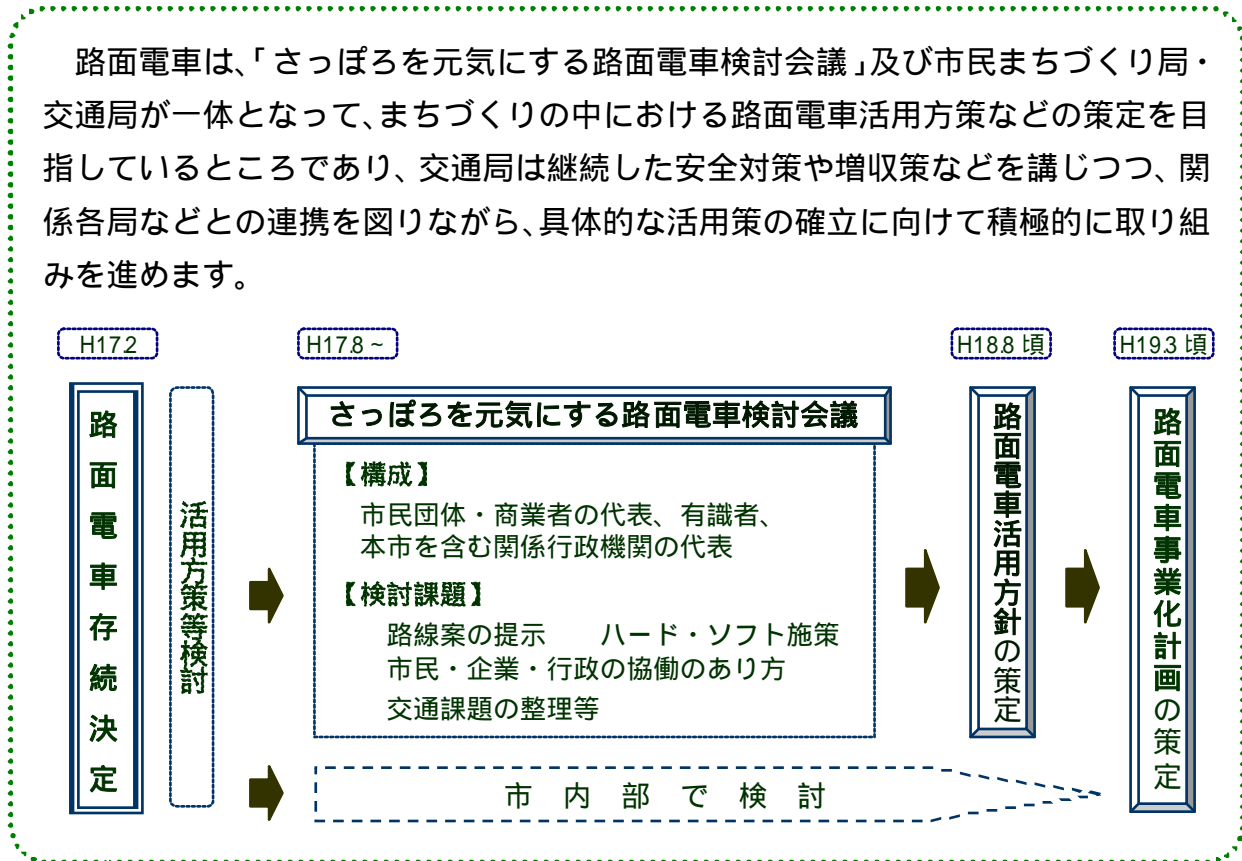
収支改善目標	実施前年度 15年度	1年目 (16年度)			2年目 (17年度)			3年目 (18年度)				10年目 25年度
		計画	実績	評価	計画	見込	評価	計画	予算	評価	計画達成率	
<b>営業収支の改善</b> 10年間で 156%改善	25	30	42	↑ 12億円 好転	52	54	↑ 2億円 好転	45	59	↑ 14億円 好転	87%	64
<b>償却前営業収支の改善</b> 10年間で 9%改善	176	176	190	↑ 14億円 好転	182	188	↑ 6億円 好転	177	195	↑ 18億円 好転	119%	192
<b>経常収支の改善</b> H23年度 に黒字転換	99	86	71	↑ 15億円 好転	58	27	↑ 31億円 好転	51	11	↑ 40億円 好転	72%	24
<b>不良債務の解消</b> H25年度 までに 全額解消	31	29	27	↑ 2億円 好転	27	24	↑ 3億円 好転	24	21	↑ 3億円 好転	32%	0
<b>効率化・増収策の展開</b> 10年間の総額 で約270億円 の収支改善	0	5	6	↑ 1億円 好転	26	35	↑ 9億円 好転	43	57	↑ 14億円 好転	21%	272

3年目(18年度)の計画達成率は、計画最終年度である25年度の目標値に対する割合である。

# 路面電車事業の展開

## 1 事業を取り巻く環境と事業運営の方向性

路面電車は、「さっぽろを元気にする路面電車検討会議」及び市民まちづくり局・交通局が一体となって、まちづくりの中における路面電車活用方策などの策定を目指しているところであり、交通局は継続した安全対策や増収策などを講じつつ、関係各局などとの連携を図りながら、具体的な活用策の確立に向けて積極的に取り組みを進めます。



## 2 安全対策

### 軌道改良

電車の安全運行を確保するため、20～25年経過し老朽化したレール、ポイント、枕木、路盤、舗装などを計画的に交換しています。

18年度は山鼻線（中島公園通～行啓通間 336m）の改良工事などを行います。



< 軌道改良工事 >

## 車両改良

現保有車両 30 両のうち老朽化の進んでいる 200 形車両 18 両について、17 年度に民間委託で車両の老朽化調査を実施した結果、改良によって 12 両は延命が可能と診断されました。

延命の可能な 12 両については、改良の緊急性を考慮しつつ、軌道事業の財政状況と、活用方策の検討を進めている現状を踏まえ、台車を中心とした改良によって対応します。

18 年度は 200 形車両 2 両の台車及び車体改良を行います。



< 200 形車両 >

## 3 利用促進策

### 地域との連携

#### イベントの実施

地域住民の方や商業者、行政機関などと連携したイベントを実施します。



< 17 年の市電フェスティバル >

#### 沿線の商業者や観光施設等とのタイアップ

沿線マップの作成、スタンプテーリングの実施などを行います。



< 17 年のスタンプテーリング >

### 新たな需要の開拓

#### 市電オリジナル共通ウイズカードの発売 (シリーズ化)

市電車内限定発売で、17 年 4 月の第 1 弾「市電と花火」、10 月の第 2 弾「雪景色」に引き続き、18 年 4 月には第 3 弾「花と市電」、10 月には第 4 弾を発売します。



< 4 月発売の「花と市電」カード >

## 市電専用 1 日乗車券の通年発売開始

< 土・日・祝日限定の家族割引つき 1 日乗車券 >

17 年度の試行発売が大変好評であったことから、  
18 年 5 月から通年発売を開始します。



< 17 年度の市電専用 1 日乗車券 >

## 魅力ある企画乗車券の検討

花火大会にあわせた「うちわ型乗車券」などを検討しています。

## 傘の無料貸出しサービスの実施

平成 18 年 4 月 1 日～11 月 20 日（夏ダイヤ期間実施）

17 年に実施した忘れ物傘を再利用した傘の無料貸出しは、大変好評で、返却も順調なことから 18 年も実施します。今後ともご協力よろしくお願ひします。



< 車内に設置した傘 >

## 貸切電車の P R 強化

貸切電車の活用方法の検討や旅行代理店との提携など、新たな展開を検討しています。

## 4 増収対策

### 広告媒体の充実

#### ペイント電車の増車

ペイント電車については、応募状況などを見極めながら更なる増車を検討します。



< ペイント電車 >

## 5 効率化策

### 非常勤職員の拡大

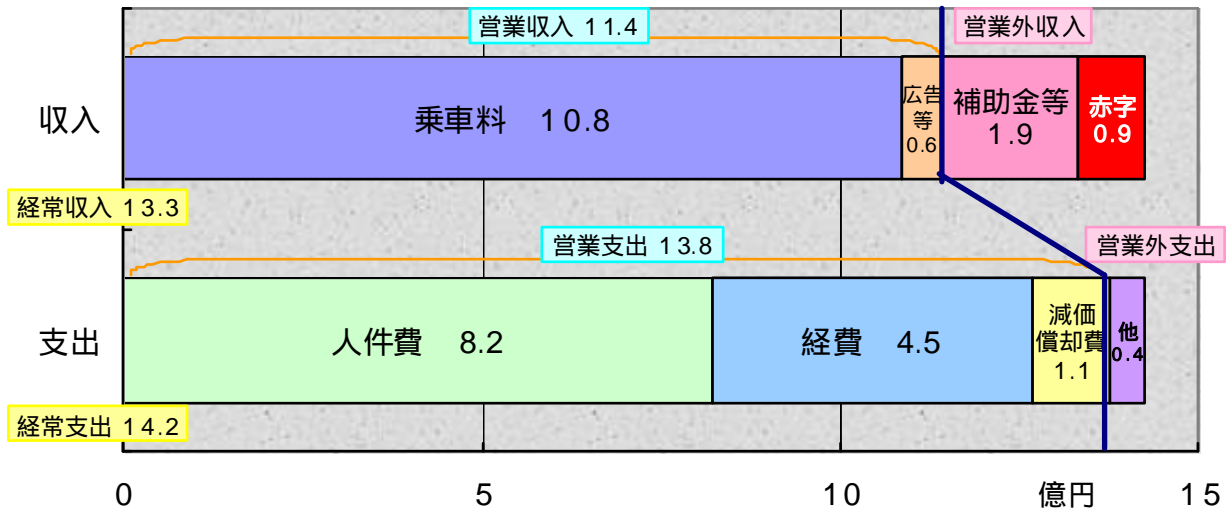
今秋を目途に非常勤運転手の割合を拡大します。



< 路面電車の運転席 >

## 6 収支見込み

### 平成 18 年度予算（経常収支）



### 平成 18 年度予算のポイント

➤ 営業収支の改善

2 億 4 千万円の営業赤字 ← 17 年度予算から 1 億 4 千万円改善

➤ 経常収支の改善

9 千万円の経常赤字 ← 17 年度予算から 1 億 4 千万円改善

➤ 18 年度末の資金残

1 億円の資金残 ← 17 年度予算から 1 億 3 千万円悪化

輸送人員及び乗車料収入は、15 年度まで年平均 3% 程度の減少が続いていましたが、16 年度に減少率が 1% 未満となり、17 年度には 16 年度実績値を上回り順調に推移しています。このため、これまでの逡減傾向には一定の歯止めがかかったものと考えられます。

18 年度予算では、前年度予算から収入の増加を見込み、費用についても効率化などの取り組みを進めることで、経常収支は改善しています。今後とも増収・効率化などの取り組みを積極的に進めます。



## ＜ 軌道事業会計 ＞ 平成 18 年度予算の状況

(単位：百万円)

区 分		予算額	主 な 内 容		
収 入 支 出 支 支 支 支 支	営 業 収 入	乗 車 料 収 入	1,084	定期 93百万円 定期外一般 859百万円 福祉分 132百万円	
		そ の 他	57	広告料 47百万円 賃貸料 10百万円	
		計	1,141		
	営 業 支 出	人 件 費	822	運転手の非常勤職員拡大等により縮減	
		経 費	445	費用見直しにより減少	
		減 価 償 却 費	109	現金支出を伴わない費用	
		計	1,376		
	営 業 収 支 (A) (償却前営業収支)		235 ( 126)	17年度予算から144百万円好転 (減価償却費を除いた収支)	
	営 業 外 収 支	収 入	他 会 計 補 助 金	189	積雪寒冷対策費補助金等
			そ の 他	2	雑収益
計			191		
支 出		企 業 債 利 息	9		
		そ の 他	28	消費税納付額 23百万円	
営 業 外 収 支 (B)		154			
予 備 費 (C)		10			
経 常 収 支 (A)+(B)-(C)=(D) (償却前経常収支)		91 (18)	17年度予算から144百万円好転 (減価償却費を除いた収支)		
特 別 損 益 (E)		0			
収 益 的 収 支 (D)+(E)=(F)		91			
累 積 欠 損 金		114	(税抜)		
資 本 的 収 入 支 出 支	収 入	企 業 債	212	建設改良の財源	
		他 会 計 補 助 金	49	軌道舗装補修費補助金	
		計	261		
	支 出	建 設 改 良 費	310	軌道改良、車両改良等	
		企 業 債 償 還 金	135		
		予 備 費	10		
		計	455		
	資 本 的 収 支 (G)		194		
	損 益 勘 定 留 保 資 金 (H)		147	減価償却費など現金支出を伴わない費用を再掲	
	過 年 度 分 資 金 過 不 足 額 (I)		233	17年度見込み	
計 (F)+(G)+(H)+(I)		95			

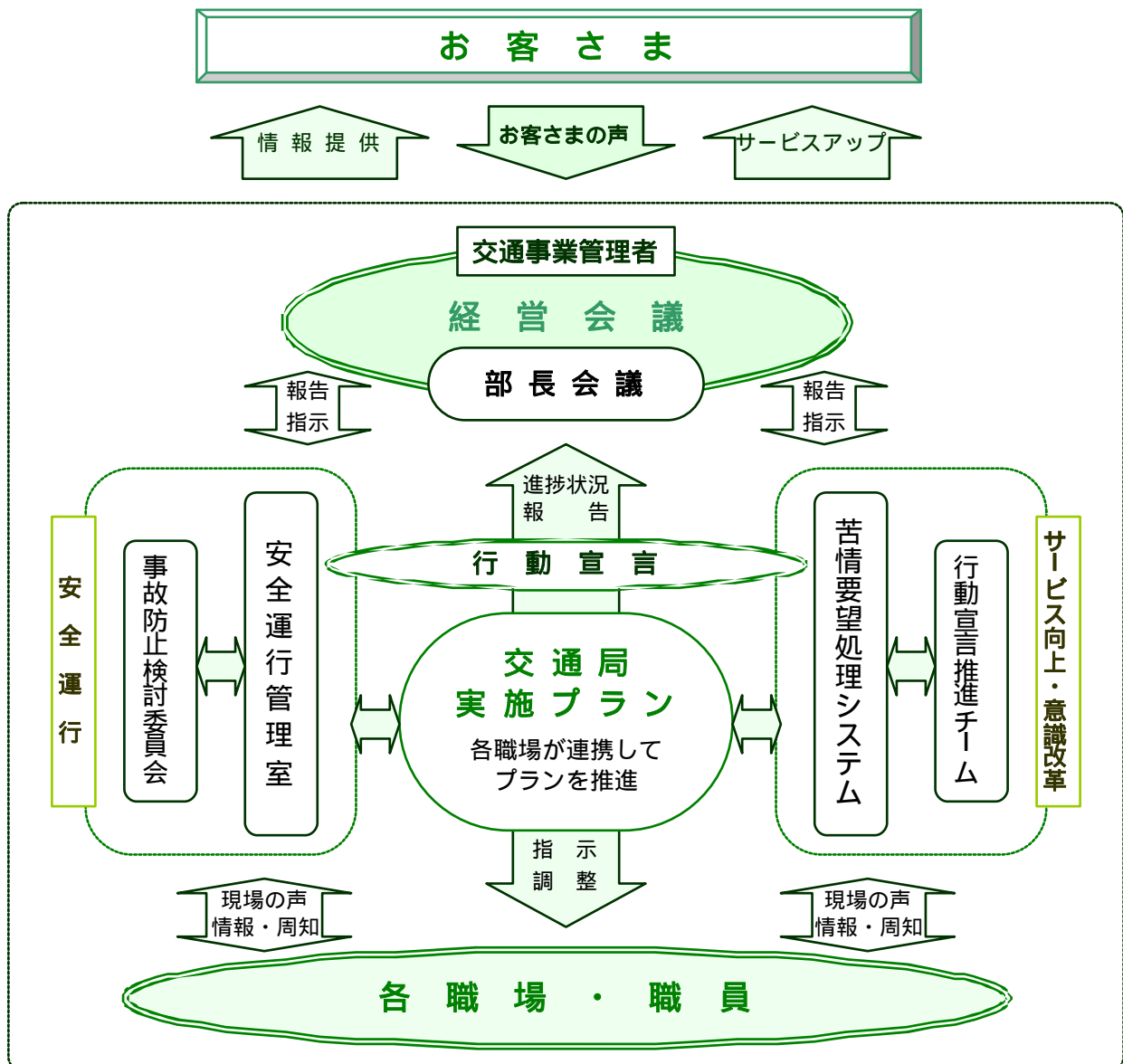
# 経営体制と進行管理

## 1 経営体制

交通局では、「交通局経営会議」が設置されており、交通事業の経営の根幹に関わる事項を決定するために、随時開催されています。また、局内における連絡調整並びに情報の共有化等の円滑化を図るため、毎週、定期的に「交通局部長会議」を開催しています。

「交通局実施プラン」の推進にあたっては、プランの進行状況、改善すべき点などをこれらの会議で検討を行い、着実なプランの実施を目指すとともに、経営体制のより一層の強化と活力ある組織作りに取り組んでいきます。

また、安全運行の確保やサービスの向上のために、初動体制、指揮命令系統、情報共有などを体系的にシステム化することで、機動力のある組織を目指しています。



## 経営体制の強化に向けて

経営層の役割を明確にし組織力を高めるとともに、経営層のリーダーシップによる経営の活性化を推進しています。

- ・ 交通事業管理者と部長職を構成員とする「経営会議」に経営判断を集中
- ・ 機能と危機管理を重視した組織機構の再構築
- ・ 財団法人札幌市交通事業振興公社を活用した事業経営の効率化
- ・ 徹底した情報公開による透明性の高い経営を実現

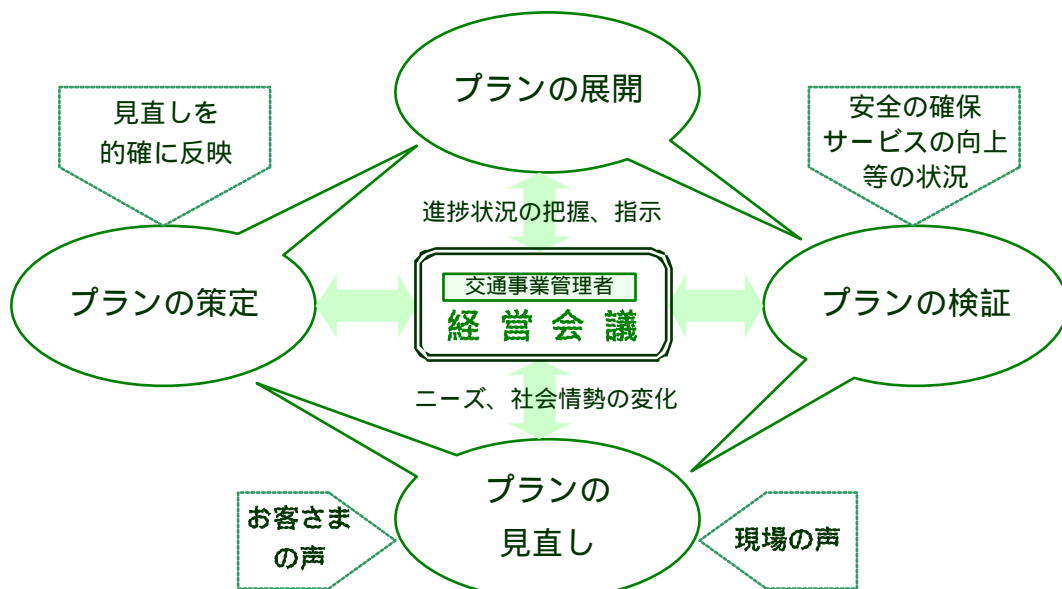
## 活力ある組織の構築に向けて

交通局職員の行動指針である「行動宣言」に基づき、お客さまにより良いサービスを提供するという職員の意識を高め、行動する仕組みを構築しています。

- ・ 職員一人ひとりの能力が発揮される仕組みづくり
- ・ 人材育成に主眼をおいた研修の充実
- ・ 職員の創意工夫が生かされる組織づくり
- ・ 市民の財産である公共交通の運営に携わっているという意識の高揚

## 2 進行管理

交通局経営会議が中核となり、交通局実施プランの進行管理を行い、プランを確実に達成するとともに、お客さまニーズ、社会・経済の状況、国の法制度等の動向を十分に見極め、的確なプランの見直しも行っていきます。



## 札幌市営地下鉄事業10か年経営計画の進捗状況について（平成17年度実績・平成18年度予定）

## 1 安全で安心して利用できる地下鉄

## 安全管理を強化します

安全運行管理室、事故防止検討委員会の機能強化	H17計画	推進	H17実績	安全運行管理室では、事故発生時の情報集約、初期対応、再発防止の指示、利用者への公表等を行いました。また、事故防止検討委員会を12回開催し事故防止に向けての検討・情報交換等を行いました。
	H18計画	推進	H18予定	安全運行管理室及び事故防止検討委員会を中心として、引き続き安全運行の徹底と事故の防止に取り組みます。

## 安全対策を推進します

火災対策の推進	H17計画	工事	H17実績	避難通路(工事:すすきの、設計:中島公園・幌平橋)、排煙設備(竣工:南郷18・ひばりが丘、工事:南郷13・大谷地・新さっぽろ)の整備を実施しました。
	H18計画	排煙設備 全駅基準適合	H18予定	避難通路(工事:すすきの・中島公園・幌平橋)、排煙設備(竣工:南郷13・大谷地・新さっぽろ)の整備のほか、防煙垂れ壁設置(北18・北12)、排煙能力の増強(北12)、車両間仕切り扉の順次設置を実施します。
地震対策の推進	H17計画	工事	H17実績	南北線高架部単柱橋脚67基中、10基の工事を実施しました。
	H18計画	工事	H18予定	残り57基中、12基の工事を実施します。
非常列車停止ボタン及びインターホンの設置	H17計画	東西線 17駅に設置 全駅設置完了	H17実績	非常列車停止ボタン及びインターホンを東西線17駅に設置し、全線全駅の設置を完了しました。
	H18計画	-	H18予定	-
ホーム柵の設置	H17計画	東西線 設計	H17実績	ホーム柵の設置にあたり、附帯設備の一部についての設計・工事を実施しました。
	H18計画	東西線 工事	H18予定	ホーム柵の設置にあたり、附帯設備の一部についての設計・工事を実施します。また、ホーム柵本体の設計を実施します。

## 2 快適で利用しやすい地下鉄

## 利用しやすい地下鉄を提供します

駅のバリアフリー化	H17計画	順次実施	H17実績	誘導ブロック等(竣工:麻生・北24・円山公園・南郷18・大谷地・新さっぽろ)、エレベータ(竣工:円山公園・菊水・南郷18、工事:中島公園、設計:北18・南郷7)の整備を実施しました。
	H18計画	順次実施	H18予定	誘導ブロック等(竣工:北34・幌平橋・南平岸・自衛隊前・菊水・白石・南郷13・ひばりが丘)、エレベータ(竣工:中島公園、工事:北18・南郷7、設計:北12・中の島・バスセンター前)の整備を実施します。
案内標識などの改修	H17計画	順次実施	H17実績	H18.1に、全線全駅で駅ナンバリング表示を実施しました。また、ピクトグラム(図記号)及び英文表記の拡大、19駅で駅付近案内図のリニューアルを実施しました。
	H18計画	順次実施	H18予定	ピクトグラム(図記号)及び英文表記の拡大、19駅で駅付近案内図のリニューアルを実施します。

利用しやすい料金の設定	H17計画	随時実施	H17実績	-
	H18計画	随時実施	H18予定	H20年度実施予定のICカードの導入に向け、利用しやすい料金の設定について、継続して検討します。
駅利便施設の提供	H17計画	随時実施	H17実績	H17.5に、大通定期券発売所スペースの一部にセブン-イレブンを、H17.8に、大通駅南北線コンコースに大型キヨスクを設置しました。
	H18計画	随時実施	H18予定	大通駅旧乗車券発売所に障がい者元気ショップを、交通案内センターに図書貸出返却コーナーを設置します。
ICカードの導入と券売機、改札機、精算機の更新	H17計画	券売機などの更新 順次実施	H17実績	券売機41台、精算機17台、改札機36台(うちワイド23台)を更新し、券売機、精算機はすべてカード対応機になりました。また、全機器の新紙幣対応が完了しました。
	H18計画	券売機などの更新 順次実施	H18予定	改札機32台(うちワイド18台)を導入し、すべてカード対応機になります。
新たな改札口の設置	H17計画	工事	H17実績	新たな改札口の設置にあたり、すすきのの工事、中島公園の設計を実施します。
	H18計画	工事	H18予定	すすきの(19年度竣工予定)、中島公園(20年度竣工予定)の工事を実施します。

### 快適な地下鉄を提供します

駅施設の改修	H17計画	順次実施	H17実績	空調設備(竣工:平岸・栄町、設計:環状通東)、動力設備(竣工:平岸・二十四軒・西28・円山公園)の更新を実施しました。
	H18計画	順次実施	H18予定	空調設備(竣工:環状通東、設計:豊水すすきの)、動力設備(竣工:北12・中島公園・東西/東豊大通・バスセンター)の更新を実施します。
新型車両への更新	H17計画	東西線 2編成更新	H17実績	東西線2編成を6000形から8000形に更新しました。
	H18計画	東西線 4編成更新	H18予定	東西線4編成を6000形から8000形に更新します。

### 3 生産性の高い地下鉄

#### コストダウンを徹底します

工場業務の外注化拡大	H17計画	西車両基地 実施 全工場実施	H17実績	西車両基地で一部検査業務等外注化し、全工場外注化の拡大が完了しました。
	H18計画	-	H18予定	-
駅業務の完全委託化と業務体制の効率化	H17計画	大通管区 3駅委託	H17実績	大通管区3駅(5駅)(西11・南北/東西/東豊大通・バスセンター)で駅業務の委託を実施しました。
	H18計画	さっぽろ管区 4駅委託	H18予定	H18.4から、さっぽろ管区4駅(5駅)(南北/東豊さっぽろ・麻生・北24・北18)で駅業務の委託を実施しています。



管理部門の職員削減	H17計画	順次実施	H17実績	-
	H18計画	順次実施	H18予定	H18.4から、出納業務の一部委託化を実施し、職員を削減しました。
勤務体制、業務委託の見直しなど	H17計画	随時実施	H17実績	-
	H18計画	随時実施	H18予定	勤務体制、業務委託の見直しに向け、継続して検討をします。
経費、建設改良費の仕様や積算の見直し	H17計画	随時実施	H17実績	駅舎清掃業務について一般競争入札の件数を増やし、清掃・警備業務については積算基準の見直しを図り、経費の削減をしました。また、電気課を本局庁舎に移転し、庁舎の維持管理費用を削減しました。
	H18計画	随時実施	H18予定	随時、経費や建設改良費の仕様や積算の見直しをし、コストの削減を進めます。

### 収益の確保を推進します

新たな需要の開拓	H17実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドニチカキップの販売強化として9駅に自動販売機の設置、ホームページや限定発売デザイン(クリスマスドニチカ)等によるPRの強化を実施しました。</li> <li>・H18.3に、西区との連携により、地域情報発信用掲示板を西区内4駅(宮の沢・発寒南・琴似・二十四軒)に設置しました。</li> </ul>		
	H18予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなるドニチカキップの販売強化をはじめ、沿線施設との連携、旅行会社とのタイアップ、札幌市の施策(ノルディック世界選手権・芸術文化月間等)、魅力あるカードの作成等により、新たな需要の開拓を進めます。</li> </ul>		
固定利用者層の拡大	H17実績	-		
	H18予定	H20年度実施予定のICカードの導入を踏まえ、お客さまのニーズを捉えた魅力的な乗車券等の開発に向け、継続して検討を進めます。		
駅構内の有効活用	H17実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H17.5に、大通定期券発売所スペースの一部にセブン-イレブンを、H17.8に、大通駅南北線コンコースに大型キオスクを設置しました。</li> </ul>		
	H18予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大通駅旧乗車券発売所に障がい者元気ショップを、交通案内センターに図書貸出返却コーナーを設置します。</li> </ul>		
その他資産の有効活用	H17実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H17.4から、資産活用を専門に行う担当課を設置しました。</li> <li>・H17.7から、本局庁舎1階を貸付しました。</li> </ul>		
	H18予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H18.4から、電気課庁舎の一部を貸付しました。</li> <li>・H18.4から、本局庁舎2階、6階を短期貸付しました。</li> <li>・H18.6から、大通西19丁目用地を貸付しました。</li> </ul>		
広告の拡充と新規広告媒体の開発	H17実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H17.4に、アドビラー(柱巻き広告)を、さっぽろ駅に拡大しました。</li> <li>・H17.7に、大通駅に大型ボード(B0版×16枚)広告を設置しました。</li> <li>・H17.10から、東西線8000形車両で音声広告を開始しました。</li> <li>・H18.3に、福住セット(大型ポスター広告の短期セット販売)広告を設置しました。</li> </ul>		
	H18予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H19.2から、東豊線で音声広告を実施します。</li> <li>・その他、新規広告媒体(エスカレーター手すり広告、パンフレット広告、駅名下広告、ステップ広告等)の開発を検討します。</li> </ul>		

広報誌、ホームページなどの活用	H17実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H17.5から、ホームページトップにドニチカキップのアニメーション広告を掲載しました。</li> <li>・H17.5から、ホームページに交通局の財務状況(予算・決算の状況、貸借対照表、損益計算書等)を公開しました。</li> </ul>
	H18予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、広報誌・ホームページ・報道機関への情報提供等により、積極的な情報発信を行います。</li> </ul>
継続した増収、乗客誘致への取り組み	H17実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H17.6に、市営交通利用促進キャンペーンプロジェクトを設置し、H17.9から市営交通利用促進キャンペーン(ダース・ベイダー1日駅長等)を実施しました。</li> </ul>
	H18予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、効果的なイベントや啓発活動の実施に向け、検討を進めます。</li> </ul>